

2011年度

科目名	東洋史学B			
担当教員	藤澤 典彦			
配当	文 1・教福1・人社1		コード	22006
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数 2
授業テーマ	帝国としての中国と日本を含む周辺諸国との文化的関係			
目的と概要	東洋の歴史を中国を中心とした帝国の視点から、周辺国(特に日本)との関係性を物資料を通して考える。			
成績評価法	毎回授業後にその日のまとめを書いてもらい、その内容(50%)と試験(50%)とで評価する。			
テキスト	使用しない。毎回資料を配布する。			
参考書	中国史の概説的シリーズがたくさんあるので、それを適宜読むことをすすめる。			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	中国史の概説的シリーズがたくさんあるので、それを適宜読むことをすすめる。それ以外の準備は不要だが、 受講後の資料整理とその再確認をすること。			
講義計画				
1. 中国史の展開	■歴代王朝の交替を中央と地方（周辺）の視点から、中国史の枠組みをみる。			
2. 秦	■始皇帝陵の示すもの 新しい世界観の成立			
3. 漢	■金印とその体制			
4. 魏晋南北朝	■仏教文化の二系譜			
5. 隋唐 1	■遣隋使・遣唐使			
6. 隋唐 2	■大仏の世界観			
7. 隋唐 3	■ヨーロッパ世界との交流			
8. 北宋・南宋 1	■宋磁の展開			
9. 北宋・南宋 2	■仏教文化の展開			
10. 北宋・南宋 3	■宋銭の世界			
11. 元	■蒙古襲来とその遺物			
12. 明	■明十三陵			
13. 清	■乾隆帝のコレクション			
14. 近代中国の成立	■シノワズリとジャポニスムの展開			
15. まとめ				